



2026年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年8月5日

上場会社名 オカモト株式会社

上場取引所

東

コード番号 5122 URL <https://www.okamoto-inc.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員

(氏名) 岡本 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長

(氏名) 細谷 久雄

TEL 03-3817-4121

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	26,929	3.3	814	67.9	1,264	64.8	478	78.3
2025年3月期第1四半期	26,066	3.4	2,538	10.7	3,592	9.7	2,210	19.3

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 679百万円 (85.1%) 2025年3月期第1四半期 4,551百万円 (26.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	27.68	—
2025年3月期第1四半期	126.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	145,782	93,421	64.0
2025年3月期	146,134	94,464	64.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 93,318百万円 2025年3月期 94,356百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	60.00	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	52,000	4.6	2,000	59.3	2,300	54.1	1,100	63.1	63.17
通期	109,000	0.1	5,700	34.5	7,000	28.3	4,300	35.6	246.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	17,699,367 株	2025年3月期	17,899,367 株
期末自己株式数	2026年3月期1Q	498,572 株	2025年3月期	563,250 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	17,292,043 株	2025年3月期1Q	17,503,064 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、P2.「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績やインバウンド需要、雇用・所得環境の改善などにより個人消費に持ち直しがみられることから緩やかに回復しております。一方で、米国の通商政策の影響や、物価上昇を背景とした消費者マインドの悪化、人手不足による供給制約の深刻化など、先行きが不透明な中で景気の下振れのリスクは強まっております。

このような経営環境のなか当社グループは、各セクションで事業戦略の遂行を進め競争力の強化に努めました。営業部門では引き続き物価高を鑑みた価格の適正化を図りつつ、国内外での積極的な活動によりシェアアップに取り組んでまいりました。生産・管理部門では、今年度から導入した新基幹システムを用いて、原材料調達、生産管理及び在庫管理の更なる効率化を進めております。

結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は26,929百万円（前年同期比3.3%増）となりました。営業利益は814百万円（前年同期比67.9%減）、経常利益は1,264百万円（前年同期比64.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は478百万円（前年同期比78.3%減）となりました。利益減少の要因は、主に、為替の円高により売上高及び営業利益で1ドル当たり前年同期比約9円分の影響を受け、また、前年同期には393百万円の為替差益があったものの、当期は289百万円の為替差損に転じたため、為替差損益が682百万円悪化したことと、原材料で中国のレアメタル規制に起因して難燃剤（アンチモン）価格高騰の影響によるものです。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 産業用製品

一般用フィルムは、業界縮小傾向も他社品の取り込みが進み売上増となりました。工業用フィルムは、輸出ステッカー用が回復も売上微減となりました。建材用フィルムは、床材を中心に堅調に推移し売上増となりました。多層フィルムは、国内食品、医療、工業用が堅調に推移し売上増となりました。壁紙は、戸建住宅販売不調の影響があり売上減となりました。農業用フィルムは、価格改定前の前倒し需要があり売上増となりました。自動車内装材は、北米子会社の在庫調整及び為替の影響、中国での日系メーカー生産減少の影響があり売上減となりました。フレキシブルコンテナは、市場の需要は減少したものの、他社の事業撤退があり売上増となりました。粘着テープは、産業用テープの販売が堅調に推移し売上増となりました。工業テープは、眼鏡用の販売が好調に推移し売上増となりました。食品衛生用品のうち、ラップは新規獲得及び価格改定により売上増となりました。食品用手袋は、ユーザーからの価格要求が厳しく売上減となりました。食品用吸水・脱水シートであるピチット製品は、外食関連、畜産関係が堅調に推移し売上増となりました。研磨布紙等は、堅調に推移し売上増となりました。

以上により、当セグメントの売上高は18,854百万円（前年同期比4.1%増）、セグメント損失は499百万円（前年同期比175.6%減）となりました。

② 生活用品

コンドームは、インバウンド需要堅調も一部得意先の在庫調整等があり売上微減となりました。また海外は、中国景気低迷及び為替の影響があり売上減となりました。浣腸は、主要ドラッグストアからの受注増及び海外向けの増加があり売上増となりました。除湿剤は、前年に比べ降水量が少なかった影響で売上減となりました。手袋は、家庭用手袋は一部小売店で企画時期延期があり売上減となりました。医療用手袋は市場価格の下落で売上減となりました。産業用手袋は半導体向けが安定して推移し前年並みとなりました。医療用製品のうち滅菌器は、需要が回復し売上増となりました。ブーツは、店頭売価が上昇した影響で消費者の買い控えがあり売上減となりました。シューズは、店頭での売上が堅調に推移し売上増となりました。

以上により、当セグメントの売上高は8,004百万円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益は1,772百万円（前年同期比24.5%減）となりました。

③ その他

その他事業は、物流受託事業及び太陽光発電事業であります。当セグメントの売上高（セグメント間の内部売上高又は振替高を含む）は867百万円（前年同期比3.4%減）、セグメント利益は99百万円（前年同期比20.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は145,782百万円で、前連結会計年度末と比べ351百万円減少しております。

流動資産は84,633百万円で、前連結会計年度末と比べ4,714百万円の減少となりました。これは主として、売掛金が628百万円増加し、現金及び預金が5,446百万円減少したことによるものです。

固定資産は61,148百万円で、前連結会計年度末と比べ4,362百万円の増加となりました。これは主として、投資有価証券が5,258百万円増加し、長期性預金が800百万円減少したことによるものです。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における総負債は52,360百万円で、前連結会計年度末と比べ690百万円増加しております。

流動負債は36,563百万円で、前連結会計年度末と比べ381百万円の減少となりました。これは主として、その他が1,171百万円増加し、未払法人税等が1,384百万円減少したことによるものです。

固定負債は15,796百万円で、前連結会計年度末と比べ1,072百万円の増加となりました。これは主として、繰延税金負債が1,196百万円増加したことによるものです。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は93,421百万円で、前連結会計年度末と比べ1,042百万円減少しております。これは主として、その他有価証券評価差額金が1,730百万円増加し、為替換算調整勘定1,485百万円、利益剰余金1,430百万円が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績につきましては、2025年5月13日の「2025年3月期決算短信」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,337	35,890
受取手形	1,167	963
売掛金	16,952	17,580
電子記録債権	8,270	8,390
商品及び製品	11,349	11,946
仕掛品	2,929	2,946
原材料及び貯蔵品	4,723	4,794
その他	2,674	2,182
貸倒引当金	△55	△61
流動資産合計	89,348	84,633
固定資産		
有形固定資産	21,818	21,820
無形固定資産	2,569	2,527
投資その他の資産		
長期性預金	800	—
投資有価証券	30,979	36,237
繰延税金資産	180	147
その他	439	416
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	32,397	36,800
固定資産合計	56,785	61,148
資産合計	146,134	145,782

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,888	23,759
電子記録債務	3,288	3,724
短期借入金	2,324	2,324
未払法人税等	1,502	118
賞与引当金	1,059	584
その他	4,881	6,053
流動負債合計	36,945	36,563
固定負債		
長期借入金	1,014	1,008
繰延税金負債	6,548	7,744
退職給付に係る負債	6,466	6,380
その他	695	663
固定負債合計	14,724	15,796
負債合計	51,669	52,360
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,047	13,047
資本剰余金	1,269	1,269
利益剰余金	58,855	57,425
自己株式	△2,652	△2,465
株主資本合計	70,519	69,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,254	18,984
繰延ヘッジ損益	2	△1
為替換算調整勘定	5,892	4,407
退職給付に係る調整累計額	688	651
その他の包括利益累計額合計	23,837	24,042
非支配株主持分	107	103
純資産合計	94,464	93,421
負債純資産合計	146,134	145,782

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	26,066	26,929
売上原価	19,816	22,289
売上総利益	6,249	4,640
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	928	841
その他の販売費	712	800
給料及び賞与	862	859
賞与引当金繰入額	186	188
退職給付費用	28	30
その他の一般管理費	993	1,104
販売費及び一般管理費合計	3,710	3,825
営業利益	2,538	814
営業外収益		
受取利息	13	30
受取配当金	504	610
不動産賃貸料	164	164
為替差益	393	—
その他	73	38
営業外収益合計	1,149	843
営業外費用		
支払利息	6	12
不動産賃貸費用	29	30
持分法による投資損失	3	—
為替差損	—	289
その他	54	61
営業外費用合計	95	393
経常利益	3,592	1,264
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	19	3
減損損失	472	166
特別損失合計	491	170
税金等調整前四半期純利益	3,102	1,094
法人税、住民税及び事業税	636	147
法人税等調整額	273	467
法人税等合計	909	614
四半期純利益	2,193	479
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△17	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,210	478

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	2,193	479
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,521	1,730
繰延ヘッジ損益	3	△3
為替換算調整勘定	838	△1,490
退職給付に係る調整額	△5	△36
その他の包括利益合計	2,357	199
四半期包括利益	4,551	679
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,506	683
非支配株主に係る四半期包括利益	44	△4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2024年11月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式135,200株を取得いたしました。当該自己株式の取得に加え、単元未満株式122株を取得したことにより、当第1四半期連結累計期間において自己株式が681百万円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は、2025年5月13日開催の取締役会決議に基づき、2025年5月30日付で、自己株式200,000株の消却を実施しております。この結果、当第1四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式が868百万円それぞれ減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,105	7,892	25,997	68	26,066	—	26,066
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22	162	185	830	1,015	△1,015	—
計	18,128	8,054	26,182	898	27,081	△1,015	26,066
セグメント利益	660	2,347	3,007	124	3,131	△593	2,538

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業及び太陽光発電事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△593百万円には、セグメント間取引消去11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△604百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「産業用製品」セグメントにおいて、固定資産の減損損失472百万円を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において472百万円となっております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,854	8,004	26,858	70	26,929	—	26,929
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22	160	183	797	981	△981	—
計	18,876	8,165	27,042	867	27,910	△981	26,929
セグメント利益又は 損失 (△)	△499	1,772	1,272	99	1,371	△557	814

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業及び太陽光発電事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△557百万円には、セグメント間取引消去11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△569百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「産業用製品」及び「生活用品」セグメントにおいて、固定資産の減損損失166百万円を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において「産業用製品」163百万円、「生活用品」3百万円となっております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	590百万円	670百万円